

Japan Academic Society for Educational Policy (JASEP)

日本教育政策学会

第21回大会プログラム

大会テーマ

教育政策研究の学際性と固有性

日程：2014年7月5日（土）～6日（日）

会場：東京大学

日本教育政策学会第21回大会実行委員会

大桃敏行（実行委員長） 勝野正章（事務局長） 村上祐介（事務局次長）
櫻井直輝（幹事） 本田哲也（幹事） 村上純一 福嶋尚子 町支大祐

日本教育政策学会 第21回大会

大会テーマ：教育政策研究の学際性と固有性

日本教育政策学会は、昨年、学会設立20周年を迎え、記念誌が発行されるとともに、記念大会が開催されました。新たな一步を踏み出す今年度の大会は大会テーマを「教育政策研究の学際性と固有性」とし、教育政策研究の学問的性格を改めて問い直してみることとしました。教育政策研究には多様なアプローチがありますが、そのなかには教育学研究の他の領域と、さらには教育学研究以外の他の学問分野と密接な関係をもつものも多くあります。公開シンポジウムのテーマを「公共政策としての教育政策」とし、教育政策の特徴を検討するとともに、教育学研究の内と外の両方との関係から、教育政策研究の学際性と固有性について考察したいと思います。

また、今年度は現在の課題研究プロジェクトの最終年度にあたり、テーマを「構造改革下の教育危機と、教育政策研究の課題」と設定していただきました。ご報告内容の社会的排除の問題は多くの学問分野と関わり、教育委員会制度改革は教育行政学のみならず行政学一般の研究と関わります。いずれも重要な研究課題であり、それぞれの検討を深めるとともに、それが教育政策研究のあり方の考察にもつながることを願っています。

自由研究発表には多くの申し込みをいただきました。充実した大会になりますよう、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

(第21回大会実行委員長 大桃 敏行)

大会日程

第1日 7月5日(土)

理事会 10:00～11:30 【359 教室】	休憩 昼食 (編)【361】	受付 12:00～ 【教育学部 1階】	自由研究発表 13:00～17:00 【156・158 教室・ 第1会議室】	総会 17:10～18:00 【156 教室】	懇親会 18:15～20:15 【山上会館 地階】
--------------------------------	--------------------------	------------------------------	---	-------------------------------	---------------------------------

(編) = 年報編集委員会は 11:30～

第2日 7月6日(日)

受付 9:00～ 【赤門総合研究棟 1階】	課題研究 9:30～12:00 【赤門総合研究棟 2階 A200 教室】	休憩 昼食 (シ) 【A210】	公開シンポジウム 13:00～16:00 【赤門総合研究棟 2階 A200 教室】
--------------------------------	---	-------------------------------	--

(シ) = 公開シンポジウム打ち合わせ

会場

東京大学本郷キャンパス 教育学部棟 / 赤門総合研究棟

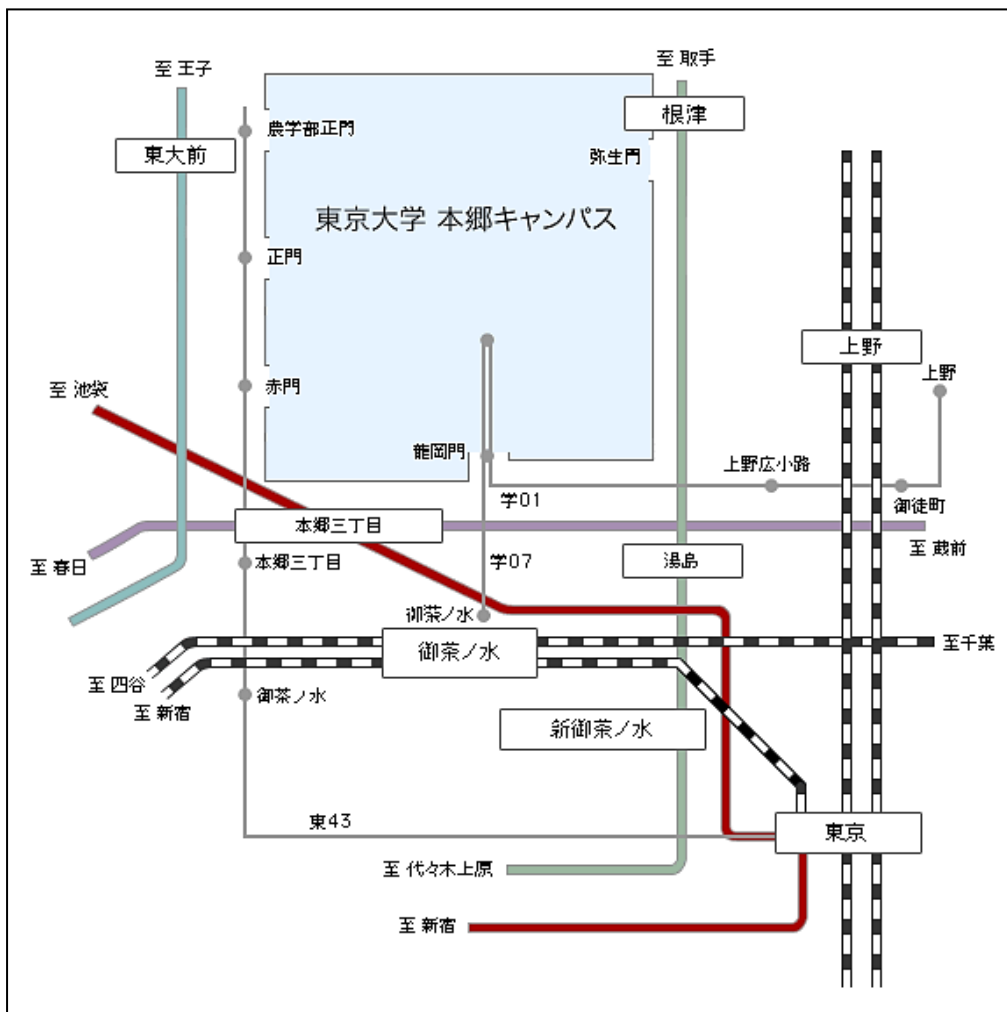
- ・所在地 : 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
- ・最寄駅 : 東京メトロ丸の内線・都営大江戸線本郷三丁目駅から徒歩約 10 分
または、東京メトロ南北線東大前駅から徒歩約 15 分

【羽田空港から】

- ① 羽田空港国内線ターミナル駅 → 京急空港線・本線 → 品川駅 → 京浜東北線 → 東京駅 → 丸の内線 → 本郷三丁目駅 (約 50 分)
- ② 羽田空港第 1 ビル → 東京モノレール → 浜松町 → 山手線 → 東京駅 → 丸の内線 → 本郷三丁目駅 (約 50 分)

【東京駅から】

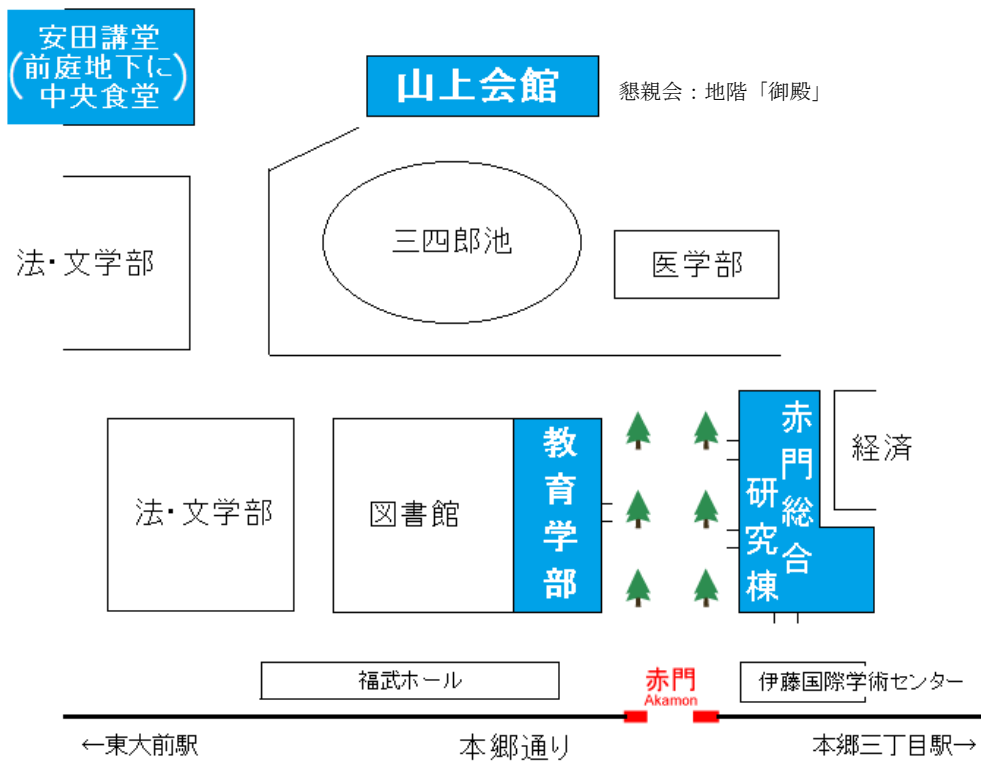
- 東京駅 → 丸の内線 → 本郷三丁目 (約 10 分)



本郷キャンパス 全体図

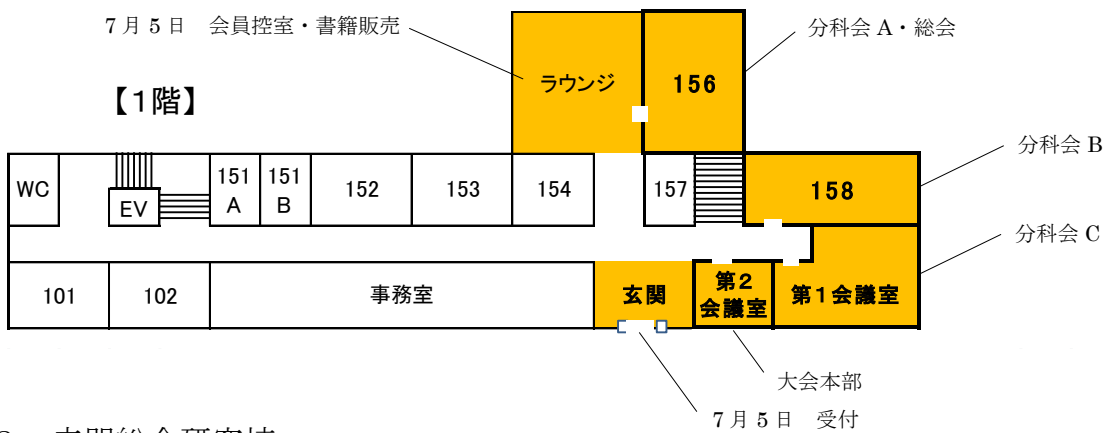
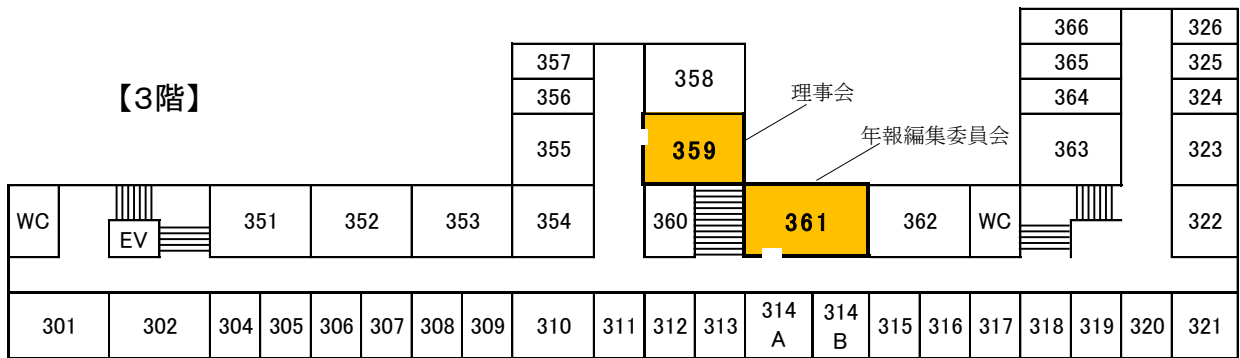


会場周辺図



会場図

1. 教育学部棟



2. 赤門総合研究棟



(懇親会：山上会館地階「御殿」)

大会参加要領

1. 一般受付 : 7月5日(土) 12時～ 教育学部棟1階入り口
7月6日(日) 9時～ 赤門総合研究棟1階入り口
2. 大会参加費等 : 一般会員 4,000円(発表要旨集代を含む)
学生・院生会員 2,000円(発表要旨集代を含む)
会員以外 1,000円(発表要旨集代を含む)
公開シンポジウムのみ参加費 無料
3. 懇親会費 : 一般会員 4,500円
学生・院生会員 2,000円
非会員 4,500円
(ただし、学生・院生の非会員は2,000円)
4. 昼食 : 各自でお取りください。会員向けの昼食弁当の予約受付は行いません。
安田講堂地下にあります「中央食堂」は、土曜日曜とも営業の予定です。また、本郷通り沿いには、コンビニエンスストアや若干の食堂等があります。
5. 宿泊など : 大会実行委員会では宿泊先・航空券等のご案内をいたしません。
参加者各位での手配をお願いいたします。
6. 書籍等販売 : 書籍等の販売をご希望の方は、事前に大会実行委員会にお申し込みください。

発表要領

- 1. 発表時間** 自由研究発表
 - ・個人研究（含、共同研究の個人発表）
30分（発表20分、質疑・討論10分）
 - ・共同研究
60分（発表40分、質疑・討論20分）※すべての発表終了後の全体討論の時間は設けないこととします。
- 2. 発表資料** 自由研究 40部
※お預かり及び印刷は、会場校ではお引き受けできません。
- 3. 発表用機材** 基本的にパソコン（パワーポイント内蔵）、プロジェクター、スクリーンが利用できます。研究発表申込みの際に機器使用を申し出られた会員は、発表当日にデータをUSBメモリに入れてお持ちください。
なお念のため、PowerPoint 最新バージョン（.pptx形式）のほか、PowerPoint97-2003バージョン（.ppt形式）で保存したデータもお持ちくださるようお願いいたします。
- 4. 欠席の場合** 発表者がやむを得ず欠席する場合は、下記に必ず連絡してください。
前日までは、jasep21@p.u-tokyo.ac.jp へ、メールでお願いします。
当日は080-9219-7065まで、電話連絡をお願いします。

連絡事項

- 1. 学会費の納入** 学会員の方は、本年度会費（一般8,000円、学生・院生5,000円）を受付横の学会事務局デスクにてご納入ください。新規に入会を希望される方は、本年度会費に入会金（2,000円）を添えてお申し込みください。
- 2. 理事会** 7月5日（土）10時から11時30分まで理事会を行います。学会理事の方はご出席をお願いいたします。昼食は事務局で用意いたします。
なお、会場は教育学部棟3階の359教室となっております。教育学部棟1階の受付までお越しください。

3. **編集委員会** 7月5日（土）11時30分から編集委員会を行います。編集委員の方はご出席をお願いいたします。昼食は事務局で用意いたします。
なお、会場は教育学部棟3階の361教室となっております。
4. **公開シンポジウム打ち合わせ**
7月6日（日）12時から12時50分まで、公開シンポジウム打ち合わせを行います。報告者・コーディネーターの方はご出席をお願いいたします。昼食は大会実行委員会で用意いたします。
なお、会場は赤門総合研究棟2階のA210教室となっております。
5. **課題研究打ち合わせ**
7月6日（日）9時から9時20分まで課題研究の打ち合わせを行います。報告者・コーディネーターの方はご出席をお願いいたします。
なお、会場は赤門総合研究棟2階のA210教室となっております。
6. **会員控室** 控室として、7月5日（土）は教育学部ラウンジ（教育学部棟1階）、7月6日（日）はA208教室（赤門総合研究棟2階）を用意しておりますので、どうぞご利用ください。

第1日 7月5日(土)

自由研究発表

13:00~17:00

今大会では、昨年度・一昨年度と異なり、個人研究30分(発表20分、質疑・討論10分)、共同研究60分(発表40分、質疑・討論20分)と設定しました。各発表の間には5分間の調整時間を設けております。活発な質疑と討論を期待します。

分科会A

13:00~16:25

会場:教育学部棟1階156教室

司会 関啓子(一橋大学名誉教授)
佐藤修司(秋田大学)

13:00~13:30 ロシア連邦における生涯学習政策の形成と実践の展開

澤野由紀子(聖心女子大学)

13:35~14:05 教育改革における学校図書館と読書
—「学校図書館支援センター」の成果と課題—

杉浦良二
(愛知教育大学大学院・院生)

14:10~14:40 地方自治体による学力調査 —都道府県の動向—

窪和広(日本大学大学院・院生)

14:45~15:15 宮崎県における小中一貫教育の取組

押田貴久(宮崎大学)

15:20~15:50 いじめ防止対策推進法にみる教育政策形成過程
—ステークホルダーと政策の中の課題—

○ 石坂広樹(鳴門教育大学)
赤井秀行
(鳴門教育大学大学院・院生)

15:55~16:25 2000年代性教育批判を沈静化させた中教審の緩衝的作用

広瀬裕子(専修大学)

分科会B

13:00～16:25

会場:教育学部棟1階158教室

司会 谷雅泰 (福島大学)
武井哲郎
(びわこ成蹊スポーツ大学)

- 13:00～13:30 安倍教育改革における教育委員会制度改変の動向
青木茂雄 (立正大学非常勤講師)
- 13:35～14:05 2013年市長選挙以後の堺市における教育政策
北川邦一 (元・大手前大学)
- 14:10～14:40 都立高校で実施の「宿泊を伴う防災訓練」の教育政策を検証する
永井栄俊 (立正大学非常勤講師)
- 14:45～15:15 防災と子育て支援
—新潟県長岡市の事例を中心に—
安部芳絵 (早稲田大学)
- 15:20～15:50 日本におけるオルタナティブ教育の制度化の意義
—子どもの権利条約の総体的保障への可能性—
南雲勇多 (早稲田大学大学院・院生)
- 15:55～16:25 子どもの学ぶ権利とオルタナティブな教育の政策に関する研究
—韓国における代案教育と教育政策を中心に—
安ウンギョン
(早稲田大学大学院・院生)

分科会 C

13:00~17:00

会場:教育学部棟1階 第1会議室

司会 篠原岳司 (滋賀県立大学)
阿内春生 (福島大学)

- 13:00~13:30 文部省調査普及局による教育条件整備政策の展開
宮澤孝子 (埼玉大学科目等履修生)
- 13:35~14:05 初期日教組運動における教育労働者概念の諸相
高木加奈絵 (東京大学大学院・院生)
- 14:10~14:40 人間の壁・佐賀教職員組合事件の教育財政政策史的検討 (その2)
—義務標準法成立史の一論点—
井深雄二 (奈良教育大学)
- 14:45~15:15 日本における IR (Institutional Research) の特徴
—組織形態と機能に注目して—
岩崎保道 (高知大学)
- 15:20~15:50 学校における OJT 施策の実施過程に関する研究
—東京都の小学校の OJT 実践を事例として—
イチャンヒ (東京大学大学院・院生)
- 15:55~16:25 中国の教師教育政策の動向
—「教師教育課程標準」の制定—
臧 俐 (東海大学短期大学部)
- 16:30~17:00 タイにおける高等教育機会拡充政策の展開と課題
—地域間教育機会格差の観点から—
植田啓嗣 (早稲田大学大学院・院生
／日本学術振興会特別研究員)

総会**17:10~18:00**

会場：教育学部棟1階156教室

- 1 開会の辞
- 2 議長団選出
- 3 会場校挨拶
- 4 会長挨拶
- 5 報告事項
 - (1) 2013年度会務報告（事務局長）
 - (2) 第8期会長及び理事選挙の結果について（選挙管理委員会委員長）
 - (3) 第8期事務局長及び年報編集委員長について
 - (4) 年報編集委員会報告（年報編集委員長）
 - (5) 課題研究プロジェクトについて
- 6 議事
 - (1) 2013年度学会活動について
 - (2) 2013年度会計決算（案）及び会計監査について
 - (3) 2014年度学会活動計画（案）及び会計予算（案）について
 - (4) 第8期常任理事及び監査（案）の承認について
 - (5) 第22回大会（2015年）会場校及び日程（案）について
 - (6) その他
- 7 議長団解任
- 8 閉会の辞

懇親会**18:15~20:15**

会場：山上会館地階 「御殿」

総会終了後に、情報交換の場として懇親会を企画しております。お誘いあわせのうえ、是非ともご参加下さい。

第2日 7月6日(日)

課題研究

9:30~12:00

会場：赤門総合研究棟2階 A200教室

テーマ：構造改革下の教育危機と、教育政策研究の課題

構造改革が進行するなかで、自治体によっては、従来では考えられなかったような教育政策（条例の制定によって教育内容にまで首長の影響力を広げようとする事例や、公民館などの教育機関を首長部局に組み込む政策など）が、まさに歯止めがなく進みはじめています。そして第二次安倍内閣が発足して以降、そうした自治体の動向と連動し、一部では摩擦を起こしながら、国の政策も展開をはじめています。今回の課題研究シンポジウムでは、こうした自治体と国の教育政策がすすめられるなかで教育現場に起こっている危機に焦点をあてながら、教育政策研究が取り組むべき課題について議論をしていく予定です。会員各位の積極的なご参加をお願いいたします。（今回は、当面3ヵ年間の予定でスタートした課題研究プロジェクト最終年度の企画となります）。

報告1 教育政策研究と社会的排除—早期離学問題から—(仮)

横井 敏郎(北海道大学)

報告2 「東京の教育」と教育政策研究の課題—教育委員会制度の動向を含めて—(仮)

荒井 文昭(首都大学東京)

コーディネーター 武者 一弘(中部大学)

テーマ：公共政策としての教育政策

教育政策は、教育という営みの特質や固有性に即した政策の立案・実施が求められる一方で、公共政策の一つの領域としての教育政策という側面も有している。また、教育政策は社会や政治・経済から自律的であることが望ましい場合もあるだろうが、他方でそれらの変化に適応しなければならない、適応せざるをえないことも少なくない。さらに、福祉や司法など、他の政策領域との連携・協働も近年では重要性を増しつつある。

本学会では、これまで教育政策や教育政策研究の特殊性や固有性を探究すると同時に、個別の教育政策について多様な観点から検討を加えてきた。それは教育政策研究のアイデンティティを明らかにするうえで現在も有力な方法であると考えられるが、公共政策全体を俯瞰したときに、教育政策がいかなる特徴を持ち、その研究にはどのような独自の困難や課題があるのかを明らかにする試みも、教育政策の特徴や独自性を明らかにするうえではまた重要であるように思われる。

そこで今回のシンポジウムでは、教育学に加えて公共政策学や他の社会科学諸領域なども含め、教育政策への多様なアプローチへの理解を深めることで、公共政策としての教育政策の特徴を考えると同時に、教育政策研究の可能性と課題について明らかにしたい。また、学際的な研究としての教育政策研究の在り方を検討するとともに、教育学の視角からどのような貢献をなしうるかについても考察を深めたい。

シンポジウムでは、政治学・公共政策学の視点からの政策分析を専門とする秋吉貴雄氏（中央大学）、経済学・教育経済学の視点から教育政策研究を行っている妹尾渉氏（国立教育政策研究所）、教育学・教育政策学の立場から理論的・実証的研究を行っている貞広齋子氏（千葉大学）の各氏にご報告を賜り、それぞれの視点からの分析と問題提起を活かしながら議論を進めていきたい。

報告1 政治学・公共政策学の立場から

秋吉 貴雄（中央大学）

報告2 経済学・教育経済学の立場から

妹尾 渉（国立教育政策研究所）

報告3 教育学・教育政策学の立場から

貞広 齋子（千葉大学）

コーディネーター 村上 祐介（東京大学）

日本教育政策学会第 21 回大会プログラム

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学教育学部 勝野正章研究室
日本教育政策学会第 21 回大会実行委員会

大桃敏行（実行委員長）、勝野正章（事務局長）、村上祐介（事務局次長）
櫻井直輝（幹事）、本田哲也（幹事）、村上純一、福嶋尚子、町支大祐

TEL 03-5841-3967

E-Mail jasep21@p.u-tokyo.ac.jp

携帯電話 080-9219-7065

（携帯電話は、2014 年 7 月 5 日・6 日 当日限り）